



ひだまり便り

第36号〈平成23年4月号〉
特定非営利活動法人
ひだまり
理事長 小関 茂

特定非営利活動法人ひだまり事務所…〒263-0005 千葉市稲毛区長沼町32番地

TEL 043-258-8604 FAX 043-310-5061

E-mail…hidamari@almond.ocn.ne.jp ホームページ… <http://www.hidamari.or.jp>

大震災を経験して

ひだまり理事長 小関茂

平成23年3月11日の東日本大震災で亡くなられた方々に深く哀悼の意を捧げますとともに、被災された方たちに心からお見舞い申し上げます。

障害を持つ仲間たちも多くの方が避難所やご自宅で不自由な暮らしに途惑われていることでしょう。被災した障害者施設の職員の方の懸命なご努力を察するに、心配しているだけしか出来ない自分かもどかしい思いで一杯です。

巨大地震と津波はあらゆる意味で日本中を揺さぶりましたが、福島第一原子力発電所事故は、さらに私たちの気持ちを騒がせています。私自身は慌ててほうれん草を食べのを止めるなどはしたくありません。今必要なことは冷静な判断と熱い支援の気持ちを持ち続けることと思っております。

身近なところで、社会福祉法人父の樹会では入所施設のガーデンセブンが一番影響を受けています。建物の壁の一部の漆喰が欠落したり、食堂棟のコンクリートの一部にひび割れが生じています。さらに計画停電の地域になったため、手持ちの発電機の暗い照明の中での夕食や暖房の止まったコンクリートの室内で寒い時間を過ごすなど、職員の奮闘は続きそうです。あけぼの園や父の樹園、3ヶ所のグループホームは運営に多少の不自由は生じましたが、混乱はなかったようです。建設中の4番目のグループホームは資材の関係で6月1日の開園に影響が出るようです。

NPO ひだまり「メープルリーフ」は、地震発生の午後も支援を行っていましたが、連絡上の混乱が多少あったものの全員無事にご自宅に送り届けることができました。金曜日の発生でしたので、週末の12・13日は急遽支援をキャンセルさせて頂きましたが、14日(月)から平常どおり支援を開始しました。このようなときほど皆様のお役に立ちたいものと職員一同願っております。

■ NPOひだまり平成23年度事業計画案 ■

新年度が始まりますが、混乱の続く情勢が障害者福祉の先行きにどのような影響を与えるのか注意深く見守って参ります。

① 障害福祉サービス

障害者自立支援法施行後の新法への移行期限である平成24年3月を控え、社会福祉法人父の樹会は年内に旧法の更生施設からの全面移行を予定していますが、NPOひだまりの役割も態勢の変化に対応できるよう努めていきます。

地域生活支援サービス「メープルリーフ」は一層の充実を図り、利用される皆様の利便性向上を目指します。先ごろの巨大地震が事業運営にどの程度の影響を及ぼすか、不確定要素として計上できない部分はありますが、23年度予算案は22年度実績に準じて計上することとします。



② 障害児者の将来を守る父の樹会の運営受託

会務運営の事務局として各グループとの連絡・調整を適切に行い、スムーズな運営を図ります。定期刊行物の印刷はカラーコピー機のリース導入により、4月から一層わかりやすい内容を目指します。

③ 成年後見制度への取組み

PAC ガーディアンズや千葉市成年後見支援センターとの連携を続け、障害児者の将来を守る父の樹会と共同でのセミナー主催や啓発のための企画を実行いたします。また、障害のある方とご家族のこれからの生活に役立つ小冊子『障害者を支える仕組み』を五月に配布する予定です。

④ 災害発生時の対応について

数年前から災害時の対応を考えてきましたが、今回の大震災を経験すると普段からの心がけがいざと言うときに必要であると改めて思いました。

メープルリーフは既に災害時の対応は定めていましたが、今回の経験を踏まえて支援中の連絡・行動の基準を見直し、「災害対策マニュアル」を整備したいと考えています。



■ 災害義援金の拠出 ■

大震災発生後、多くの団体が義援金を募っています。理事会やスタッフ会議でもこの件について話し合い、ひだまり役員と職員の有志の献金にひだまり法人からの拠出分を併せ、3月30日に振込みをしました。

振込先は、以下の2ヶ所としました。ひとつは、愛知県半田市の社会福祉法人「むそう」です。理事長の戸枝さんは「むそう」のほかにも多くの知的障害の事業で活躍し、その行動力を今回も見せてくれました。20日には地元調達のトラックに燃料のドラム缶、カセットコンロ・ガスや食料などを積み込み、2日ばかりで仙台や石巻方面の被災地に駆けつけ、仙台に拠点を構えて被災した障害者や事業所の支援活動を始めています。

もう一ヶ所は、千葉県内で大きな被害を受けた旭市の「旭市災害義援金」の口座に振り込みました。旭市は、社会福祉法人「ロザリオの聖母会」が知的障害を持つ方のために活動している地域です。

少し古い話ですが…

昨年、千葉国体に続いて開催された「ゆめ半島千葉大会」第10回全国障害者スポーツ大会ソフトボール競技の続きの話です。22年8月に行われた千葉市代表選抜大会に我らのチーム「ラッキーズ」と附属特別支援学校チームが出場しましたが、健闘むなしく勝ち残れませんでした。本番は10月24日に成田市大谷津運動公園で行われ、千葉市代表として市内では無敵の「畑通勤寮」(現在は畑ホーム)の選手を主体とする選抜チームが出場しました。対戦相手は岐阜県代表でこれがかんかなか強く残念ながら1対7で一回戦負けでした。付け加えると、千葉県代表は、福岡市に4対5でこれも1回戦負けでした。ちなみに優勝は岡山県代表が2対1で横浜市代表に勝ちました。今年のラッキーズの活躍に期待しましょう！！

